



山梨安管協だより

第120号

平成30年1月4日 発行



謹賀新年

写真提供：やまなし観光推進機構

当協議会は世界文化遺産「美しい富士山」を未来に引き継ぐため、富士山の価値の保護・保全活動を応援しています。

交通安全はみんなの願い 本年もよろしく願いいたします。

会 長	武 川	勉	副 会 長	前 島	敏 彦
副 会 長	清 水	修 一	副 会 長	守 屋	武
副 会 長	櫻 本	進	副 会 長	守 屋	武
専務理事	川 崎	雅 明	理 事	丹 沢	始
理 事	興 石	賢 一	理 事	田 中	新 也
理 事	望 月	勇 雄	理 事	松 田	文 明
理 事	天 川	住 夫	理 事	庄 司	寛
監 事	高 木	啓 和	監 事	宮 下	昭





年頭のごあいさつ

一般社団法人 山梨県安全運転管理者協議会 会長

武川 勉

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族並びに従業員の皆様ともども、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から県協議会の運営に多大なご理解とご協力をいただいております警察ご当局をはじめ、関係機関・団体並びに会員の皆様に心より御礼申し上げます。

さて、県内の安全運転管理者選任事業所が関係する交通事故につきましては、昨年11月末の時点で、発生件数 355 件、死者 2 人、負傷者 444 人となっており、前年同期と比べると残念ながら、発生件数は+70 件 (+24.6%)、死者数は+2 人 (+200%)、負傷者数は+79 人 (+21.6%) といずれも大幅に増加する厳しい状況でありました。

当協議会といたしましては、本年も各地区協議会をはじめ関係機関・団体の皆様と緊密な連携を図り、飲酒運転の根絶を目指すとともに、早めのライト点灯及びハイビームの活用の励行、高齢者を交通事故から守る「見る、止まる、ゆずる」の3るーる励行運動を重点的に推進して参ります。

また、従来から進めている、シートベルト・チャイルドシート着用運動、セーフティードライブ・チャレンジ 123 への協賛活動、安全速度推進車キャンペーン、反射材の積極的な使用の啓発などの事業につきましても継続して実施するとともに、交通情勢の変化に対応するため、県警察並びに各警察署のご指導とご協力をいただく中で、交通事故防止に有効な幅広い交通安全対策を推進して参りたいと思います。

さらに、会員事業所のニーズに応えるため、安全運転中央研修所における安全運転管理者課程受講の支援、自動車任意保険の共済募集、企業安全運転研修の指定自動車教習所委託事業などにつきましても一層の充実を図り、適切な安全運転管理活動を推進していただけるよう、事業所における先進的な取り組み事例を紹介するなど情報提供の強化に努めて参ります。

新年にあたりまして、会員皆様方にもそれぞれの地域と一体となった幅広い交通安全活動の展開と安全運転管理に万全を期していただくようお願いするものであります。

結びに、会員事業所の益々のご繁栄と会員皆様のご活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ

山梨県知事 後藤 斎

新年明けましておめでとうございます。

山梨県安全運転管理者協議会及び会員事業所の皆様には、輝かしい平成30年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

貴協議会におかれましては、安全運転管理者の資質向上や会員事業所の安全運転管理体制の充実強化を図る一方で、各地区協議会の皆様などと連携され、飲酒運転根絶のための「ハンドルキーパー運動」や交通事故による被害を軽減するための「シートベルト・チャイルドシート着用運動」、高齢歩行者を夜間の事故から守るための「ピカッと作戦」など、幅広い交通安全活動に積極的に取り組んでいただいております。

また、本県における交通安全対策の推進母体であります山梨県交通対策推進協議会の主要メンバーとして、各種交通安全運動に参画いただくとともに、5人1組で、123日間、無事故・無違反を目指すセーフティードライブ・チャレンジ123においては、協賛団体として会員事業所の皆様に参加を呼びかけるなど、本県交通安全行政の重要な一翼を担っていただいていることに対し、深甚なる敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げる次第であります。

さて、本県における交通事故の状況をみますと、交通事故による死者数は貴協議会が活動をはじめた昭和40年代と比べ大幅に減少し、発生件数についても平成15年をピークに減少傾向にあります。しかしながら、未だに多くの方々が交通事故の犠牲になり、飲酒運転も後を絶ちません。中でも交通事故による死者に占める高齢者の割合が高く、高齢化が急速に進む中であって、大きな課題となっています。

県においては、このような状況を踏まえ、市町村や関係機関・団体と連携を図る中でこれまで実施してきた幅広い交通安全対策を継続するとともに、高齢者の交通事故を防止するため、反射材着用に向けた集中的な普及啓発をはじめ、加齢による身体能力の低下を自覚していただくための運転適性診断の実施、運転免許自主返納制度や公共交通の運賃割引制度の周知を行うなど、更に対策を強化しているところであります。

交通事故のない社会を実現するためには、行政や関係機関・団体をはじめ、学校、企業等が役割を分担しながら、県民一人ひとりの交通安全に対する意識を高めていくことが重要だと考えます。

県では、今後も関係機関・団体の皆様方と一層の連携を図り、粘り強く取り組みを推進して参りますので、貴協議会におかれましては、引き続きお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

結びに、山梨県安全運転管理者協議会並びに会員事業所の皆様にとりまして、本年が良き年となりますよう御祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

山梨県警察本部長

青山彩子

新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人山梨県安全運転管理者協議会並びに各事業所の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、交通安全活動をはじめ警察行政の各般にわたり、深いご理解とご協力をいただき、また、各種交通事故防止対策の推進にご尽力いただきましたことに対しまして、深く敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

さて、昨年の県内における交通事故の発生状況は、発生件数及び負傷者数ともに、前年と比べ減少したところであり、これは関係機関・団体をはじめとした県民の皆様のご努力の賜であると考えております。

しかしながら、依然として、65歳以上の高齢者の死者数が、全死者数の約5割と高い割合を占めており、特に自動車運転中と歩行中の死亡事故が多いというのが特徴であります。

また、飲酒運転を伴う交通事故は未だ後を絶たず、人口10万人当たりの飲酒事故件数は全国平均を大きく上回るなど不名誉な状況が続いております。

このため県警察といたしましては、本年も引き続き「交通死亡事故抑止総合対策の推進」を重点目標に掲げ、加齢に伴う身体機能の低下を自覚していただき、引き続き安全運転を継続していただけるような交通安全教育や、運転免許証自主返納制度の周知など高齢者の交通事故抑止対策をはじめ、交通事故抑止に資する交通指導取締り及び通学路等生活道路における安全で快適な交通環境の整備など、県民が安全と安心を実感できる山梨の実現に向けて、関係機関・団体の皆様との連携をより一層強化しながら、総合的な交通安全対策を強力に推進していくこととしております。

皆様方におかれましては、安全で思いやりのある山梨の交通社会を実現するため、引き続き、各事業所における安全運転管理の徹底と飲酒運転根絶をはじめとした各種交通安全活動を事業所ぐるみで積極的に展開していただき、とりわけ

- 歩行者事故防止のための「3H」（早めのライト点灯、ハイビームの活用、反射材の使用）の推進
- 横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいた場合、必ず一時停止するなど「横断歩行者の保護」の徹底

について、事業所の一人ひとりが交通安全活動のリーダー役として、率先して模範を示し、交通安全諸活動を更に推進していただけるよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭に当たり、山梨県安全運転管理者協議会及び加盟事業所の益々のご繁栄と、会員並びにご家族の皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

表彰の栄に輝いた方々

(敬称略)

全国表彰

交通栄誉章緑十字銀章 (警察庁長官・全日本交通安全協会会長連名)

株式会社丹沢電機 代表取締役社長 丹沢 始 (南甲府)

交通安全優良事業所 株式会社湯村自動車学校 (甲 府)

優良安全運転管理者協議会 北杜安全運転管理者協議会

(以上平成30年1月19日(金)、文京シビックホールにおいて表彰式が行われます。)

交通栄誉章緑十字銅章 高野忠彦 (南アルプス) 芦澤喜博 (鵜 沢) 佐野一雄 (南 部)
飯島正伸 (笛 吹) 小林敬明 (日下部) 小林利広 (富士吉田)
鈴木昌弘 (大月都留)

(以上平成30年1月12日、交通安全推進県民大会において伝達授与が行われます。)

関東管区警察局長・安管協関東連合会長連名表彰

平成29年10月27日(金)、埼玉県さいたま市のパレスホテル大宮において関東管区警察局長並びに関東安全運転管理者協議会連合会主催による表彰式が行われました。本県からも受賞者が出席し、関東管区警察局長及び連合会長から表彰状等が授与されました。

交通安全功労者 株式会社櫻本鉄工 代表取締役会長
櫻本 進 (南アルプス)

優良安全運転管理者 渡辺正幸 (富士吉田) 白木孝郎 (上野原)

優良運転者 深澤克宏 (甲 府)

優良事業所 有限会社飯丘自動車工業所 (南アルプス)
株式会社丸美建設工業 (鵜 沢)

優良安全運転管理者協議会 笛吹安全運転管理者協議会



第43回 安全運転コンクール開催



平成29年10月13日(金)、南アルプス市の山梨県総合交通センターにおいて、山梨県警察並びに当協議会主催による安全運転コンクールが開催されました。県下12地区の予選を勝ち抜いてきた44名の選手の皆さんが参加し、学科及び実技の競技が行われました。

コンクールの結果 (敬称略)

優勝 (甲府地区) 甲府中央消防署 辻 祐紀

準優勝 (南アルプス地区) (有)丸総 甲府運転代行サービス 田中 総明

優秀 (甲府地区) NEC フィールディング(株)甲府支店 桑原 雄一

優秀 (北杜地区) (有)ハッ麓自動車 内田 弘幸

優秀 (富士吉田地区) 富士五湖消防本部富士吉田消防署 渡辺 和幸



会長あいさつ



学科試験



実技



表彰式

平成29年度 安全運転研修を実施

平成29年9月15日から12月22日までの間、当協議会に加入している会員事業所従業員の皆様を対象に、県内の指定自動車教習所に委託して、安全運転研修を実施しました。この研修は、従業員に対して企業人としての自覚、運転の責任の意識付けを行い、事業所における事故リスクの軽減を図ることを目的として、平成26年度から実施しています。期間中、19事業所から研修希望があり、計56名の方が受講しました。

安全運転研修の時間は3時間で、次の5項目について研修を行っています。

- 安全運転適性検査（30分）… 運転適性のペーパー検査
- 場内実技（30分）…………… 安全確認の仕方や正しい右左折など基本的な運転技術の確認
- 路上走行（90分）…………… 一般道路の走行を行い、安全度・危険度の検査
- 安全運転講話（15分）
- まとめ（5分）



管内の交通事故情勢

— 北杜警察署 —



深澤 宏之
交通課長

山梨県の北西部に位置する北杜市は、平成の大合併により峡北地域の長坂町・高根町・大泉村・白州町・武川村・須玉町・明野村の7町村が合併し、その後、小淵沢町も同市に編入されて、人口約5万人の「北杜市」がスタートしました。これに伴って、平成19年4月1日には、それまでの警察署名である「長坂警察署」改め「北杜警察署」へと改称するとともに、東京23区とほぼ同面積の総面積602.48km²の管内を志田署長以下52名の署員により治安維持に当たっています。

管内の特徴としましては、北は八ヶ岳連峰、南西は甲斐駒ヶ岳から連なる南アルプス、東は茅ヶ岳、北東には瑞牆山などの日本を代表する美しい山々に囲まれ、毎年多くの登山客が訪れるほか、八ヶ岳南麓の冷涼な山岳高原地からなっているため、夏場には「涼」を求めて多くの観光客が訪れます。

また、日本一長いと言われる日照時間や映画にも登場したひまわり畑なども有名で、風光明媚な土地としても知られています。

交通環境は、甲府より至る甲州街道が韮崎市を要として3つに分岐しており、釜無川に沿う国道20号、八ヶ岳南麓の七里岩上を走る主要地方道茅野北杜韮崎線（通称「七里岩ライン」）、塩川に沿う国道141号と、市民の主要道路として利用されています。

さらに、中央自動車道が東西に延びているほか、JR中央本線及び小海線も整備されていることから、通勤通学者にとって利便性は非常に良い環境と言えます。

この様な交通環境の中で、管内における人身交通事故の発生状況におきましては、平成29年11月末現在、発生件数88件、死者数2名、負傷者数113名と、未だに悲惨な交通事故が後を絶たない現状にある反面、いずれの数字も前年同時期より減少傾向にあります。

こうした成果は、田中会長をはじめとする当協議会加盟事業所の皆様が、交通事故抑止に向けて志しを1つにし、春と秋の全国交通安全運動をはじめとした交通安全啓蒙活動への積極的な協力と、各事業所毎における平素からの交通安全教育の普及に努めて頂いている賜であり、その一端での警察との連携につきましても、心より感謝いたします。

今後とも、安全運転管理者協議会をはじめとした皆様方のご協力を得て、1件でも多くの悲惨な交通事故を抑止していきたいと考えておりますので、引き続き、ご理解、ご協力をお願いいたします。

株式会社 湯村自動車学校



代表取締役社長
岩間正三



安全運転管理者
松木準二

《経営理念》

「お客様から信頼を得る」を全ての事業活動の原点に置き「確かな技術と優しい心を持つ安心安全な運転者の育成」に取り組みもって地域社会に貢献する。

《経営方針》

「ひとにやさしく暖かく」「冷静な判断・確かな技術」「やさしさが安全運転に」等、「湯村でよかった!」と言って頂けるよう全社員が一丸となって安心安全な運転者を輩出し、地域及び交通社会に貢献する。

事業所概要	所在地	山梨県甲府市塩部二丁目2番15号	
	代表者	代表取締役社長 岩間正三	
	安全運転管理者	執行役員 総務部長 松木準二	
	従業員数・社有車数	従業員数 39名 社有車数 59台	
	業務内容	道路交通法に基づく教習・検定・講習業務、労働局長認可事業、不動産業	
	管理体制	朝礼、全体会議、各部署責任者	
安全運転管理活動	指導状況	平素	<ul style="list-style-type: none"> 免許証の携帯の有無及びアルコールチェック（毎朝） 全従業員によるセーフティチャレンジへの参加 日常点検及び法定点検（6ヶ月、12ヶ月等）の遵守 安全運転教育者としての自覚や誇り、注意喚起を朝礼で実施 定期的に全体会議を実施し、事故防止策等を徹底
		安全運動時	<ul style="list-style-type: none"> のぼり旗の掲出による啓蒙・啓発活動 ポスターの掲示 安全運転コンクール及び講習の実施
		事故事例	事故報告書・顛末書・理由書・始末書の提出及び事故事例による注意喚起
	指導重点	法令の遵守と職責に対する自覚及び重要性	
	点検	日常点検（毎朝）、法定点検	
	賞罰	社内規定による	

有限会社 飯丘自動車工業所



代表・安全運転管理者
秋 山 武

《経営理念》

当社は「地域の人から信頼され愛される総合自動車関連業」として社員一同日々精進を重ねている。これを実現する為に社員が一致団結し顧客満足度100%を目指している。そのためには社員教育と研修を重ね、資格取得を積極的に働きかけ、日々レベルアップを図っている。確かな技術とサービスの提供で地域の人から愛され、地域発展に貢献できる企業を目指している。

《経営方針》

- ・確かな技術、お客様が安心して乗れる修理を目指す工場
- ・技術とサービスの向上
- ・安全運転の励行
- ・コンプライアンス励行

事業所概要	所在地	山梨県南アルプス市飯野新田 676 番地	
	代表者	秋 山 武	
	安全運転管理者	秋 山 武	
	従業員数・社有車数	従業員数 5 名 社有車数 13 台	
	業務内容	建設揚重業、自動車修理工場	
	管理体制	安全運転管理者 1 名	
安全運転管理活動	指導状況	平 素	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転・安全作業をスローガンに、安全最優先に取り組む ・安全運転講習会への参加 ・セーフティチャレンジ参加
		安全運動時	交通安全の看板立て、ポスター、垂れ幕
		事故事例	事故・違反なし
	指導重点	交通マナーの厳守、ルール厳守	
	点 検	法定点検、始業前点検	
	賞 罰	社内規定による	

株式会社 丸美建設工業



代表取締役
芦澤文久



安全運転管理者
山本勇一

《経営理念》

私共は公共建設を通してより便利な街づくりや、心地よい生活の場のサポートとして社会に貢献しています。

公共の構造物が私達の技術に委ねられる自覚と責務を持って、私共は安全と、良質な製品造りを心掛けています。

《経営方針》

我が社は、「早く 安く 良い仕事」を社訓に、お客様の利益の最大化を第一に考えています。

お客様に認められ必要とされる企業を実現するため、確かな技術と誠実さをモットーに地域に貢献してまいりますと考えています。

事業所概要	所在地	山梨県西八代郡市川三郷町高田 2974	
	代表者	代表取締役 芦澤文久	
	安全運転管理者	専務取締役 山本勇一	
	従業員数・社有車数	従業員数 15名 社有車数 15台	
	業務内容	土木建設業	
	管理体制	毎月の安全会議、毎朝の朝礼による指導	
安全運転管理活動	指導状況	平素	乗車前点検（社有車、自家用車）の実施 朝礼時の健康確認 事故・違反等の再発防止検討会 全社員参加のセーフティチャレンジへの参加（2017年は3チーム15人の参加）
		安全運動時	安全運転掲揚ポスターの掲示、安全運転の確認
		事故事例	事故・違反はどんな小さな件も、報告・再発防止策の水平展開をする
	指導重点	交通ルールの遵守、マナーの向上、日常生活における休息、飲酒に関する指導	
	点検	乗車前点検（社有車、自家用車）の実施	
	賞罰	社内規定による	

3H推進中

早めのライト点灯

夕暮れ時に早めにライトを点灯し、歩行者や自転車の早期発見と、自車の存在を歩行者等に知らせ注意喚起しましょう！

ハイビームの活用

ヘッドライトを上向き（ハイビーム）にすることにより、前方の歩行者等の発見を早め、事故防止につながります。
対向車に配慮した上で、効果的な活用に努めましょう！



反射材の使用

車のライトを反射することにより、運転者に歩行者の存在を知らせることができます。
反射材を積極的に使用して、交通事故から身を守りましょう！



※ 飲酒運転防止のお願い
飲酒運転を防止するために、ユーチューブ山梨県警察公式チャンネルで公開中の、

「後悔」～飲酒運転の果てに～

を、是非御覧下さい。

山梨県警察

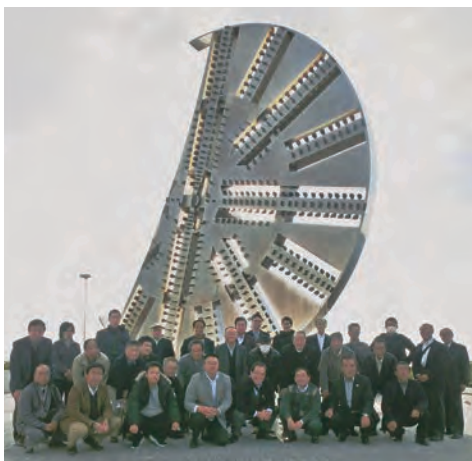
本会の活動状況

1 理事会の開催、研修旅行の実施

(1) 10月5日(木)、山梨県農業共済会館において会長以下役員11名、各地区事務局12名が出席して理事会を開催し、研修旅行の実施に関する件等について審議するとともに、「安全運転コンクールの開催予定」、「安全運転研修の参加申込受付状況」、「関東管区警察局長及び関東安全運転管理者協議会連合会長連名表彰」等について確認しました。



(2) 11月28日(火)～29日(水)、会長以下32名が参加し、防災体験学習施設「そなエリア東京」、東京湾アクアライン「海ほたる」管理事務所、成田航空博物館等において研修を行いました。



2 県安管事務局の動向

- (1) 9月14日(木)～15日(金)、新潟県南魚沼郡湯沢町内のホテル「NASPA (ナスパ) ニューオオタニ」において開催された関東安全運転管理者協議会連合会各県専務理事等会議に川崎専務理事が出席し、当面の諸問題について各県専務理事と情報交換を行いました。
- (2) 10月4日(水)、都内千代田区内のホテル「アルカディア市ヶ谷」において開催された各都道府県安全運転管理者協議会専務理事等会議に川崎専務理事が出席し、警察庁の担当者から「交通事故情勢と安全運転管理」について説明を受けるとともに、青森県、千葉県、兵庫県の各県専務理事から活動状況についての発表を聴きました。
- (3) 10月27日(金)、さいたま市大宮区内のパレスホテル大宮において開催された、関東安全運転管理者協議会連合会表彰式及び理事会議に川崎専務理事が出席し、合同主務者会議の議題、平成30年度の事業計画(行事日程)、その他当面の諸問題について協議しました。
- (4) 11月2日(木)、さいたま市大宮区内のパレスホテル大宮において開催された関東管区内各県警察本部及び各県安管協議会合同主務者会議に、警察本部交通企画課原口補佐とともに川崎専務理事が出席し、安全運転管理者選任事業所等における交通事故防止対策、安全運転管理者等未選任事業所の発見強化対策等について各県担当者と情報交換を行いました。



各地区安全運転管理者協議会の活動状況



甲府

10月6日 湯村自動車学校において、清水会長以下地区安管協役員・会員等9名、中山署長以下甲府署員7名が出席し、地区内加入事業所から選抜された選手34名の参加により、安全運転コンクール甲府地区大会を開催しました。なお、この地区大会の上位入賞者5名が県大会に出場し、うち2名が優勝と第3位という好成績を収めました。



南甲府

9月29日 山梨交通自動車学校において、丹沢会長以下地区安管協役員4名、佐野地域交通管理官以下南甲府署員5名の他、交通関係団体の役員が出席し、地区内加入事業所から選抜された選手16名の参加により、安全運転コンクール南甲府地区大会を開催しました。



南アルプス

9月25日 南アルプスガーデン駐車場において、西山署長以下南アルプス署員、市長以下市職員の他、関係団体の役員、高齢者、児童等約150名参加により開催された「南アルプス市3H運動推進大会」に地区安管協も参加し、塩釜副会長が「推進宣言」を行った後、警察署までパレードしました。



韮崎

9月29日 山梨自動車学校において、輿石会長以下地区安管協役員3名、初原署長以下韮崎署員6名の他、交通関係団体の役員が出席し、地区内加入事業所から選抜された選手15名の参加により、安全運転コンクール韮崎地区大会を開催しました。



北杜

9月29日 長坂自動車教習所において、田中会長以下地区安管協役員2名、廣瀬次長以下北杜署員3名の他、交通関係団体の役員が出席し、管内加入事業所から選抜された選手27名の参加により、安全運転コンクール北杜地区大会を開催しました。



諏沢

9月29日 峡南自動車教習所において、望月会長以下地区安管協役員4名、諏沢署員3名が出席し、地区内加入事業所から選抜された選手24名の参加により、安全運転コンクール諏沢地区大会を開催しました。



南部

8月4日 身延町総合文化会館会議室において、松田会長、窪田南部警察署長、交通関係団体役員他が出席して、セーフティドライブ・ファイト210作戦の表彰式を行い、昨年11月1日から本年5月29日まで210日間の無事故無違反を達成した88チームに対して、署長、会長の連名表彰を行うとともに、引き続きの交通事故防止の呼びかけを行いました。



笛吹

12月7日 笛吹警察署において、前島会長、入野野笛吹警察署長、笛吹市長等、関係機関・団体の役員43名が参加して、「ふえふき飲酒運転撲滅大作戦」の出発式を行い、飲酒運転撲滅を宣言した後、市内飲食店等を巡回し、ハンドルキーパー運動の推進等について協力要請を行いました。



日下部

9月30日 塩山自動車教習所において、天川会長以下地区安管協役員4名、高村署長以下日下部署員5名が出席し、地区内加入事業所から選抜された選手17名の参加により、安全運転コンクール日下部地区大会を開催しました。また、「飲酒運転 しない させない 事業所」と印刷されたタペストリーを日下部署とともに作成、地区大会参加事業所に配付するとともに、他の加入事業所にも配付することとし、飲酒運転根絶を図っています。



富士吉田

9月20日 秋の全国交通安全運動に伴い、富士河口湖町の大池公園駐車場において、地区安管協役員4名、富士吉田署員10名の他、交通関係団体の役員等が出席し、アイドルグループ「愛乙女☆DOLL」(ラブリードール)を一日警察署長に委嘱するとともに、河口湖大橋南詰において街頭指導所を開設し、通行車両に交通安全を呼びかけました。



大月都留

9月21日 秋の全国交通安全運動に伴い、JR大月駅前において、庄司会長以下地区安管協役員4名、瀬戸署長以下大月署員5名の他、大月市長等市役所職員、交通関係団体役員等が参加し、通行者等に黄色い羽根及び啓発物品等を配付し、シートベルトの着用や飲酒運転の根絶等交通安全を呼びかけました。



上野原

12月4日 年末の交通事故防止県民運動に伴い、守屋会長以下地区安管協役員6名が、上野原署員3名とともに、管内のゴルフ場6箇所をまわり、飲酒運転防止を呼びかけるポスターの掲示、ハンドルキーパー運動の上り旗の設置、交通安全啓発グッズの配付等を行って、飲酒運転撲滅を呼びかけました。

飲酒運転しない・させない山梨キャンペーン実施中

飲酒運転には厳しい処分が!

酒酔い運転



無条件で……

35点 欠格期間3年
免許取消し

酒気帯び運転



呼気中アルコール濃度
0.25mg/ℓ以上

25点 欠格期間2年
免許取消し

呼気中アルコール濃度
0.15mg/ℓ以上 0.25mg/ℓ未満

13点
免許停止 90日

欠格期間の上限は10年!

酒酔い運転をした場合 **3年**
 死亡事故を起こした場合 **7年**
 ひき逃げをした場合 **10年**

※) 前歴及びその他の累積点数がない場合

※) 欠格期間とは 運転免許を取り消された場合に 運転免許を受けることができない期間

「ハンドルキーパー運動」にご協力ください



ハンドルキーパーとは?
 自動車で仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。



安全運転管理者協議会への加入のご案内

(一社)山梨県安全運転管理者協議会は、安全運転管理者等の選任事業所を中心に構成され、安全運転管理体制の充実強化を図るための事業を行うとともに、交通安全に対する県民の皆様の理解を深める活動を推進しています。

当協議会は、県下12警察署単位に地区協議会が組織されており、各警察署交通課に事務局が置かれています。安全運転管理者選任事業所の皆様の積極的な加入をお願いいたします。

詳しい入会手続きや会費については、各警察署交通課の担当者にお問い合わせいただくか、当協議会のホームページをご覧ください。

事務局から一言

新年明けましておめでとうございます。
 昨年中は、各地区協議会並びに各事業所の皆様方から格別のご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
 おかげ様で、安全運転コンクールの開催や安全運転研修の実施などの事業も順調に進めることが出来ました。
 本年も引き続き、会員事業所の皆様方の期待に応えられますよう安全運転管理事業の充実を図ってまいります。各地区協議会並びに各事業所の皆様方のなご一層のご理解ご協力をお願いします。

一般社団法人
 発行 **山梨県安全運転管理者協議会**

〒400-0034
 甲府市宝一丁目21-20
 (山梨県農業共済会館内)
 TEL (055) 236-1020
 FAX (055) 236-1025
<http://yakk.jp/>